

### 赤ちゃんにやさしい病院



赤ちゃんにやさしい認定について説明する棚橋院長(左)と中野センター長(右)=高山市天満町の高山赤十字病院で

高山市天満町の高山赤十字病院が二日、推進委員会の初会合を開いた。母乳育児を進めるため、ユニセフとWHOによる「赤ちゃんにやさしい病院」を目指し、出産後三十分以内に赤ちゃんにやさしい認定に向け初会合を開く。会合では病院職員や保健師、市職員など二十一人が出席。高山赤十字病院母子医療センター長の中野隆さんが母乳育児の利点などを説明した。会合を定期的に開き、二年後の認定を目指す。棚橋院長は「母乳育児を進める良い機会。地域や行政の意見をいただきたいと話進めていきたい」と話した。(片山さゆみ)

に母乳育児を始めさせること、「一日中母親と赤ちゃんを同室にする」など十カ条を定めている。国内では七十二施設、県内では三施設が認定されている。